

環境医学Ⅱ

授業概要

環境と健康との関連、健康課題に対応する人類生態学，政策科学の概念と方法を学ぶ。

担当教員

神田秀幸（主担当） 教授・環境保健医学

嘉数直樹 准教授・環境予防医学

山崎雅之 学内講師・環境予防医学

一般目標 **general instructional objectives**

1. 自然・生活・社会環境と健康との関連を理解する。
2. 環境と健康との関連を歴史的、文化的な文脈 context から理解する。
3. 健康を支援する環境づくりや環境に順応した人間行動を理解する。
4. 健康課題に対応する人類生態学，政策科学の概念と方法を理解する。

行動目標 **specific behavioral objectives**

1. 自然・生活・社会環境と健康との関連を列記することができる。
2. 環境と健康との関連を歴史的、文化的な文脈 context から例示することができる。
3. 健康を支援する環境づくりの要件を述べることができる。
4. 地球環境問題における環境に順応した人間行動を例示することができる。
5. 人類生態学，政策科学の概念と方法の特徴を述べることができる。

成績評価の方法

すべての講義および演習が終わった後、規定の出席率(2/3以上)を満たした学生に対し、課題を呈示し、レポートの提出等を指示する。そのレポート等を行動目標の達成度を主眼に評価する。

使用テキスト・参考文献

講義ごとに資料を配布する。

教育内容（講義および演習）

回	授業内容	担 当
1	環境医学 総論	神田秀幸
2	環境医学各論（1） 生活と健康	嘉数直樹
3	環境医学各論（2） 社会と健康	神田秀幸
4	環境医学各論（3） 健康への自然と社会の相互作用	山崎雅之
5	地球環境問題（1） 地球温暖化	嘉数直樹
6	地球環境問題（2） 化学物質による環境汚染	嘉数直樹
7	地球環境問題（3） PM2.5による大気汚染	嘉数直樹
8	地球環境問題（4） 生物多様性と生態系の破壊	山崎雅之
9	社会環境問題（1） 社会経済格差	山崎雅之
10	社会環境問題（2） 飲酒・喫煙	神田秀幸
11	社会環境問題（3） 生活習慣	山崎雅之
12	社会環境問題（4） 職業ストレスとメンタルヘルス不全	嘉数直樹
13	人類生態学	山崎雅之
14	健康政策科学	山崎雅之
15	環境による発がん	嘉数直樹